

救急救命学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	52	救急救命シミュレーションⅡ

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	EM-2-CLP-02				
	●		●	●						
科目名	救急救命シミュレーションⅡ				単位 認定者	堀口 雅司、平川 正隆 横山 亜矢、佐藤武諭毅		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	救急救命学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	5 単位	評価 の 方法	授業内 課題等	20 %
						授業時間数	150 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	75 回			
授業の概要	「救急救命シミュレーションⅠ」で修得した技術をもとに、各救急救命処置についてその目的を理解し、各処置における手技の基本を体得する。また、各救急救命処置に対応した必要資材、機材の使用法や注意点等を理解し、実際の救急活動において的確に実践するための基本的技術を身につける。救急救命士として、傷病者の容態の安定化を図り生命維持を助けることのできる、傷病者に対する初期対応のプロとなるための技術を、シミュレーションを通して身につける。									
到達目標	救急救命士の全基本手技を修得する。観察、接遇、特定行為を含めた処置の判断、指示要請、準備、処置、評価、報告の一連の救急活動を修得する。シミュレーションⅠで修得した内容を含め、傷病者の病態に応じた処置を判断して実施できる。									
学修者への 期待等	演習はペアまたは小グループで行う。授業は全て実技を実施するので、演習時の服装は、実習着、運動靴を着用する。改訂第10版救急救命士標準テキストを持参する。演習で使用する人形は、本物の傷病者として扱うのとし、傷病者に失礼な態度がないように取り組むこと。事前にテキストやLMSへ掲載の資料等を熟読し、質問事項を用意して授業に臨んでください。									
回	授業計画				準備学修					
1	基本手技・総合演習 (気道確保、酸素投与、人工呼吸、声門上気道デバイスを用いた気道確保、気管挿管等)				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第2章「救急医学概論/ 救急救命処置概論」で復習すること(概ね1時間)。					
2	基本手技・総合演習 (胸骨圧迫、電気ショック、静脈路確保、ブドウ糖投与等)				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第2章「救急医学概論/ 救急救命処置概論」で復習すること(概ね1時間)。					
3	特定行為を含む救急隊活動① 基本手技の確認・内因性疾患				シミュレーションⅠで修得した内容確認。					
4	特定行為を含む救急隊活動① 基本手技の確認・外因性疾患				シミュレーションⅠで修得した内容確認。					
5	特定行為を含む救急隊活動① 基本手技の確認・内因性疾患・外因性疾患				シミュレーションⅠで修得した内容確認。					
6	重症外傷傷病者に対する救急隊活動① 基本手技・外傷想定				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、 JPTECガイドブックで予習・復習すること (概ね1時間)。					
7										
8	想定訓練①(心肺停止・呼吸系疾患)				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」 で予習・復習すること(概ね1時間)。					
9	想定訓練①(心肺停止・循環系疾患)				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」 で予習・復習すること(概ね1時間)。					
10	想定訓練①(心肺停止・消化系、その他の疾患)				シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」 で予習・復習すること(概ね1時間)。					

回	授業計画	準備学修
11	重症外傷傷病者に対する救急隊活動② 基本手技・外傷想定	シミュレーションⅠで修得した内容確認。 テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
12		
13	想定訓練②（呼吸不全/心不全）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
14	想定訓練②（ショック）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
15	想定訓練②（重症脳障害）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
16	産婦人科領域の処置 主に教員からの解説と展示	テキスト第Ⅲ編専門分野 第2章「救急医学概論/救急救命処置概論」 第5章「疾病救急医学 14 妊娠・分娩と救急疾患」で予習すること（概ね1時間）。
17	産婦人科領域の処置 主に学生の実技	テキスト第Ⅲ編専門分野 第2章「救急医学概論/救急救命処置概論」 第5章「疾病救急医学 14 妊娠・分娩と救急疾患」で予習すること（概ね1時間）。
18	想定訓練③（呼吸不全/心不全）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
19	想定訓練③（ショック）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
20	想定訓練③（重症脳障害）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第3章「救急病態生理学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
21	重症外傷傷病者に対する救急隊活動③ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
22		
23		
24	想定訓練④（意識障害/頭痛） 内因性疾患想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第4章「救急症候学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
25		
26	重症外傷傷病者に対する救急隊活動④ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
27		
28		
29	想定訓練⑤（痙攣/運動麻痺/めまい） 内因性疾患想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第4章「救急症候学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
30		

回	授業計画	準備学修
31	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑤ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
32		
33	想定訓練⑥（呼吸困難/咯血/胸痛/動悸） 内因性疾患想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第4章「救急症候学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
34		
35		
36	災害医療・多数傷病者・トリアージ 主に教員からの解説と展示	テキスト第Ⅲ編専門分野 第1章「救急医学概論/病院前医療概論」で予習・復習すること（概ね1時間）。
37	災害医療・多数傷病者・トリアージ 主に学生の実技（基本）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第1章「救急医学概論/病院前医療概論」で予習・復習すること（概ね1時間）。
38	想定訓練⑦ （一過性意識消失と失神、体温上昇） 内因性疾患想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第4章「救急症候学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
39		
40		
41	災害医療・多数傷病者・トリアージ 主に学生の実技（応用）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第1章「救急医学概論/病院前医療概論」で予習・復習すること（概ね1時間）。
42	災害医療・多数傷病者・トリアージ 主に学生の実技と効果確認	テキスト第Ⅲ編専門分野 第1章「救急医学概論/病院前医療概論」で予習・復習すること（概ね1時間）。
43	想定訓練⑧ （腹痛/吐血・下血/腰痛・背部痛） 内因性疾患想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第4章「救急症候学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
44		
45		
46	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑥ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
47		
48	想定訓練⑨（小児・高齢者）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
49	想定訓練⑨ （小児・高齢者/妊娠・分娩と救急疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
50	想定訓練⑨ （妊娠・分娩と救急疾患/精神障害）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。

回	授業計画	準備学修
51	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑦ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
52		
53	想定訓練⑩（循環系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
54	想定訓練⑩（消化系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
55	想定訓練⑩（代謝・内分泌・栄養系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
56	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑧ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
57		
58	想定訓練⑪（血液・免疫系/筋・骨格系疾患、）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
59	想定訓練⑪（泌尿・生殖器系疾患/感染症）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
60	想定訓練⑪（眼・耳・鼻・皮膚系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
61	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑨ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
62		
63	想定訓練⑫（環境障害・急性中毒） 環境障害・急性中毒想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第7章「急性中毒学・環境障害」で予習・復習すること（概ね1時間）。
64		
65		
66	重症外傷傷病者に対する救急隊活動⑩ 外傷想定	テキスト第Ⅲ編専門分野 第6章「外傷救急医学」、JPTECガイドブックで予習・復習すること（概ね1時間）。
67		
68	想定訓練⑬（神経系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
69	想定訓練⑬（呼吸系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。
70	想定訓練⑬（循環系疾患）	テキスト第Ⅲ編専門分野 第5章「疾病救急医学」で予習・復習すること（概ね1時間）。

回	授業計画	準備学修
71	総合演習① 内因性疾患・外因性疾患想定	シミュレーションⅠ、Ⅱで修得したスキルを、様々な想定を経験することによって、ブラッシュアップする。代表的な疾患の特徴を事前に復習し、救急隊としての活動をイメージして臨むこと。
72		
73	総合演習② 内因性疾患・外因性疾患想定	シミュレーションⅠ、Ⅱで修得したスキルを、様々な想定を経験することによって、ブラッシュアップする。代表的な疾患の特徴を事前に復習し、救急隊としての活動をイメージして臨むこと。
74		
75		
教科書	「救急救命士標準テキスト 改訂第10版」救急救命士標準テキスト編集委員会、へるす出版 「改訂第2版補訂版 JPTECガイドブック」一般社団法人 JPTEC協議会、へるす出版 「救急技術マニュアル」(6訂版)救急業務研究会、東京法令出版 「救急処置スキルブック」〈上下巻〉(新訂第2版)田中秀治(総監修)、晴れ書房 「標準多数傷病者対応MCLSテキスト」一般社団法人日本災害医学会、ぱーそん書房	
参考文献	4版E.M.T Support Book 山本保博(監修)東京法令出版	
備考	小テストは採点した後に模範解答と共に返却し、誤った回答に関してレポートとする。 各項目の最終日には、効果確認を行う。 授業時の服装は指示がない限り、実習服、実習靴、アポロキャップ着帽とする。 公安職・医療従事者を旨とする学生として相応しい整容で授業に臨むものとする。相応しくない場合は出席としない。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

救急救命士として実務経験を活用して、傷病者の病態に応じた処置を判断して実施できるよう教授する。
救急救命士の基礎となる知識と技術、人間愛と思いやりの心を持った救急活動の重要性を指導する。